

** 2021年 4月 (第7版)

製造販売届出番号 : 11B1X1000669D001

* 2017年11月 (第6版) (新記載要領に基づく改訂)

機械器具 69 歯科用蒸和器及び重合器
一般医療機器 歯科用バーナ (70715000)

ハンディートーチ

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



※各部の名称は取扱説明書を参照

2. 材質・組成

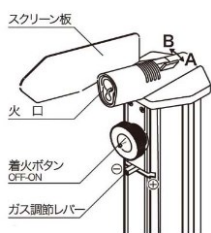
本体：アルミニウム合金

【使用目的又は効果】

ボタンガス等を燃料とするバーナで、歯科修復物や構成補助装置を加熱し、鑲着及び蟻義歯のワックス表面のフローに用いる。

【使用方法等】

** 1. 着火方法



①着火の際には、火口部を人体に向けないこと。

②空気調節レバーをA (図参照・空気量最大) の位置にセットする。A以外の位置にあると着火しない。

③ガス調節レバーは中央の位置にセットする。

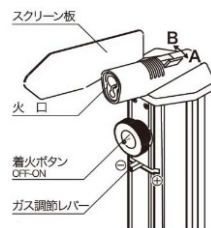
④着火ボタンをOFFからONの位置へ回転させると、シューと音がしてガスが出る。

⑤着火ボタンを押すとパチンと電子着火する。

⑥一度で着火しない場合には、空調レバーと調整レバーの位置をもう一度確認して再度着火ボタンを押す、という行為を数回繰り返す。

** 2. 炎の調節

・使用目的に合わせ、ガス量及び空気量を調節する。

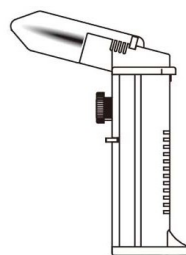


①ガス調節レバーを(+)の方向に動かすと炎が大きくなり、(-)の方向に動かすと炎が小さくなる。

②空気調節レバーをAにすると炎が青色に、Bにすると赤色に変化する。

注意：青火の場合、目で見るとよりかなり長く炎が出ている為、十分注意すること。空気調節レバー操作の際、空気バランスの変化により消えることがある。再着火して使用すること。

** 3. スクリーン板の取付



スクリーン板を取り付けると炎が見やすくなる。本体付属のスクリーン板取り付けネジにスクリーン板を差し込み、パチンと音がするまで押し込む。

** 4. ガスの注入方法

①ガスボンベを手で数回振ってから注入すること。
②ボンベのステムを本器底面のガス注入口へ垂直に合わせ、強く押し込む。

・本体を新品購入した場合はあらかじめガスが充填されているので、ガスを注入する必要はない。

・ガスが注入口から溢れてきたらガスが満タンであるので、繰り返し再注入は行わないこと。(過充填)

【使用上の注意】

(重要な基本的注意)

1. 本品が過熱状態になるような使用・保管はしないこと。内部ガスタンクの圧力が上がり破裂するおそれがある。(【保管方法及び有効期間等】を参照)
2. 廃棄の際は、火中に投じないこと。破裂するおそれがある。
3. 本品の炎は明るい場所では短く見えるが、実際には高温の熱風がかなり遠くまで届いているため、周囲の安全を十分に確認してから着火すること。
4. 本品を長時間使用すると火口部が極度に加熱される為、長時間の使用は避けること。
5. 高地・寒冷地で使用する場合、使用するガスの性質や空気との混合具合により、着火しにくい場合があるので、注意すること。
6. 火口を上に向けないこと。ワックス等が詰まり、故障の原因となる。
7. 火傷のおそれがあるため、以下に注意すること。
 - ①使用中に本品を転倒させない。
 - ②返り炎・反射熱による過熱。
 - ③点火後又は消火後すぐに火口部周辺や火口カバーを触る。
8. 本品は自動的に消火しないため、使用後は必ず消火を確認すること。
9. 故障の原因となるので、以下は行わないこと。
 - ①分解・改造をしないこと。
 - ②粗雑な扱い。(キズをつける・落下させる・強い衝撃を与える等)
 - ③使用後に本品を急激に冷やす。

取扱説明書を必ずご参照下さい

10. 薬液等が付着した場合、腐食するおそれがあるので速やかに清拭すること。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管の方法〉

・保管の条件

1. 空気調節レバーを空気量最少の位置にセットし、着火ボタンをOFFに合わせた後、以下を全て満たす場所に保管すること。
①温度40度以下。（破裂のおそれがある）
②火気に遠く、直射日光が当たらない。（破裂のおそれがある）

③多湿でない。
④塵やほこりがない。
2. 電気分解を要因とした錆を防ぐ為、材質の異なる器具と一緒に保管しないこと。
3. 「もらいさび」を防ぐ為、以下のことに注意すること。
①錆びている器具と一緒に保管しない。
②化学薬品と一緒に保管しない。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉

1. 使用前に以下について点検すること。
①ガス漏れがないか。（使用前にガスがなくなっている場合は、ガス漏れの可能性がある）

②破損・ヒビ・キズ及び劣化等がないか。
③火口部、空気孔にゴミ、ワックス等の異物が付着していないか。

④空気調節レバーを空気量最少側にした状態（この際、ガスが出ていないことを確認する）で火口前方から見て着火スイッチを押した時、圧電スパークが放電するか。
2. 日常点検で異常を確認した場合は、修理を依頼すること。
3. 使用後は速やかに付着した残存物等を除去すること。
4. 加熱滅菌（オートクレーブ滅菌・乾熱滅菌）及び煮沸消毒は行わないこと。
5. プラズマ滅菌は、素材に影響を及ぼすので行わないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者名：株式会社YDM

住所：〒355-0042

埼玉県東松山市今泉28

電話番号：0493-24-3388

ファックス：0493-24-0703

ホームページ：<http://www.ydm.co.jp/>